

## 第6回 佐賀駅前広場等整備・活用検討会議 議事メモ

■日 時：令和5年1月23日（月）14：00～15：30

■場 所：佐賀市役所2階 庁議室

■参加者：（委員）荒牧軍治、馬場久雄、柴戸晶子、木下博幸、富吉賢太郎、牛島英人  
福島龍三郎、野田和成、江頭省吾、川崎博満、原口武彦、金崎春海、池田聡子  
白井誠

（事務局：佐賀市佐賀駅周辺整備構想推進室）

武藤英海、西洋徳、井手康祐、野田大介

大串賢一、姉川久、樫木豊、澤野正芳、中村明弘、鐘ヶ江泰山、白濱芳美  
園田卓司

（事務局：佐賀県まちづくり課）岩橋良憲、垣内尚子、河原誠

1. 開会
2. 挨拶
3. 前回会議振り返り
4. 事業進捗状況の報告（市説明）
  - ・佐賀駅出入口の愛称の決定について
  - ・佐賀駅前広場の状況について
5. 検討事項
  - ・県道佐賀停車場線の再整備について（県説明）

### ■質疑等

4. 事業進捗状況の報告
  - ・佐賀駅前広場の状況について

《委員》

○南口駐車場が左折して出るようになっているが、間口が狭い。交通事故防止の観点から、駐車台数を減らしてでも出口を広げたりできないか。

《事務局（市）》

○事務局でも状況は把握しており、運転手の視点から縁石が見えないことが問題であると思われるため、ポールを立てて視認性を上げる等の対策を検討したい。

《委員》

○広場が整備されて大変ありがたいが、ゴミの問題がある。ワールドカップ日本戦の翌日はゴミのポイ捨てがひどかった。また、広場内を降車せず、そのまま北口から南口まで駅構内を通行する自転車も多い。

《事務局（市）》

○広場、特に植栽帯の中のゴミが多い。現在はコムボックス内のSAGAMADOの協力を受け、ゴミ拾いをしていただいている。自転車の対応も含めて、当面は立て看板や広報での注意喚起を行っている。

《委員》

○ゴミはポイ捨てゴミか。

《事務局（市）》

○イベント実施時はイベント主催者に回収をお願いすることができるが、広場の日常的な利用の中でのポイ捨てゴミが多い印象がある。

## 5. 検討事項

・県道佐賀停車場線の再整備について

《委員》

○イチヨウの木を植えるとのことだが、落葉で点字ブロックが見えにくくなることはないか。また、イチヨウは雄株を植樹するのか。雌株の場合、落ちた銀杏をよけようとした自転車の交通事故が発生した例がある。

《事務局（県）》

○高さ5m程度のイチヨウの木（雄株）を植える予定であり、落葉による点字ブロックへの支障についても配慮をしていく。官民連携による管理のあり方を検討し、適切に管理を行っていく必要があると考えている。

《委員》

○歩道の点字ブロックと駅前広場からの伸びる点字ブロックは直線で繋がるのか。また、イメージ図でキッチンカーの前に点字ブロックがあるが、キッチンカーに並ぶお客さんが点字ブロックを塞がないよう配慮していただきたい。

《事務局（県）》

○駅前広場と県道の点字ブロックは一直線にはならないが、誘導はしっかりやっていきたい。また、歩くための空間（3.5m）を確保し、そこにはモバイルファニチャ等は設置しない。一昨年10月の社会実験でもキッチンカーにならぶ人が点字ブロックを塞ぐ場面があった。キッチンカーの前の人だまりは意識して対応を考えていきたい。

《委員》

○1月6日の佐賀新聞の一面にクスノキ伐採の記事が載った。佐賀には昭和25年の福田ヨシさんの話や、佐賀空港開港に伴うお堀のクスノキ移植の件もある。今回の報道で市民、県民のからのご意見や問い合わせはあったか。

《事務局（県）》

○2件の電話があった。1件は担当者が不在だったため先方から改めて連絡するとのことだったが、その後連絡が無かった。残りの1件はスケジュール等に関するお尋ねだった。

《委員》

○神野校区の女性の会がクスノキ下のゴミ拾いをしているが、女性の会との調整はどうなっているか。

《事務局（県）》

○神野女性の会の方から佐賀土木事務所に問い合わせがあっている。伐採の時期などスケジュールが確定したら連絡することになっている。

《委員》

○人が増えれば犯罪も増える。防犯の観点から、歩道等への防犯カメラの設置は考えられるか。

《事務局（県）》

○道路管理者として防犯カメラを設置していることは聞いたことないが、他部局で地域が設置する防犯カメラに対する補助制度があったと記憶している。

《委員》

○クスノキを伐採するといった話があると、佐賀県民は関心大きい。伐採後のクスノキを活かすのであれば、どのように活用していくのかをきちんと発信すべき。

《事務局（県）》

○何らかの形で活用したいと考えている。早めに計画を打ち出せるようにしたい。

《委員》

○歩道と駅前まちかど広場の接続や再整備は喜ばしいが、駅前広場のゴミ問題の例があるので、せっかくの空間がゴミで悪い印象を与えないよう、県民あげての啓発が必要と感じた。

《事務局（県）》

○好ましい管理の在り方を、市と一緒に考えていきたい。

《委員》

○点字ブロックは設計前に視覚障がい者からの意見を聞いてほしい。

《事務局（県）》

○意見を聞く機会を設けたい。

《会長》

○駅前まちかど広場に関しては基本方針のみが示されているが、スケジュールは道路整備よりも後になるという認識でよいか。

《事務局（県）》

○駅前まちかど広場に関しては整備スケジュールを含めて今後検討したいと考えている。まずは東側歩道の拡幅を優先して進めてまいりたい。

《会長》

○様々な意見が出たが、大枠問題はないと考えられるため、この検討会議としては、佐賀駅前交流広場から南につながる県道整備の考え方、デザイン案について了承するという結論をだすこととしたい。(会場の委員の方々も同意)

○今後、市民や県民の方々から様々な意見が出ると思うので、それについて対応をお願いしたい。特に交通の問題、障がいを持ったの方々からのご意見については、細かいところまで手が届くよう、対応していただきたい。

○委員の皆様から県道整備の方針について了承をいただいたことから、本日をもって本会議を終了することとしたい。